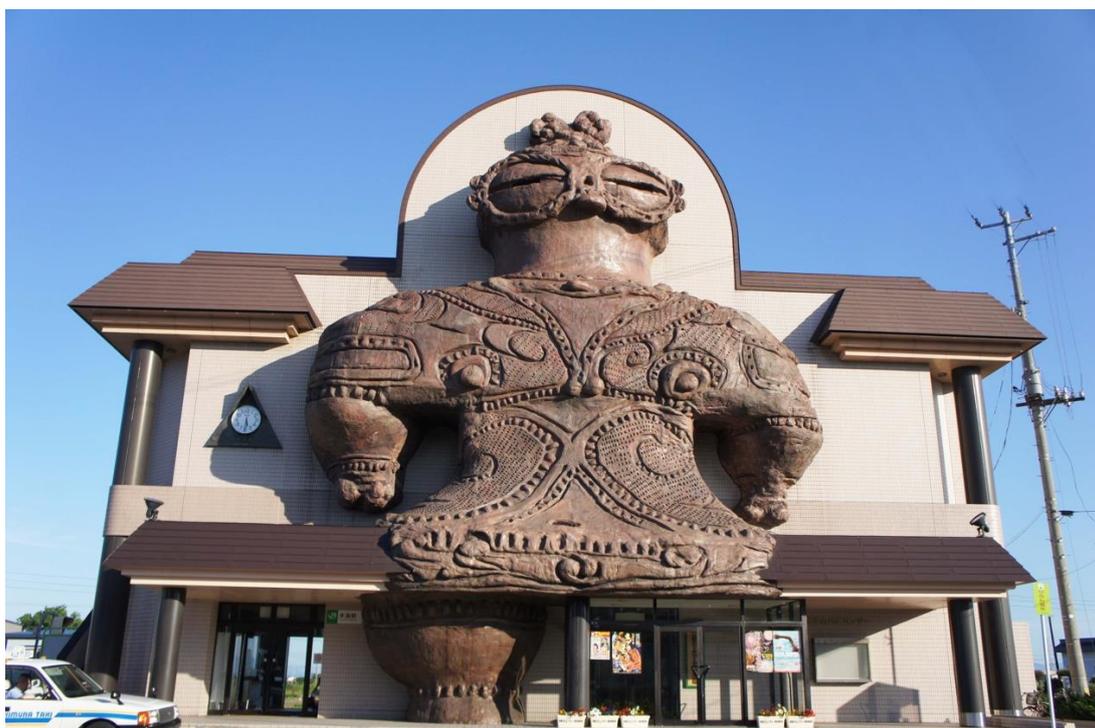


# 近畿とあおもり



つがる市 木造駅

近畿青森県人会

創立70周年

2022 新年号 NO.66

## ご挨拶

近畿青森県人会

会長 鶴賀谷 修



新年明けましておめでとうござ  
います。近畿青森県人会会員の皆  
様方には、お健やかに新年をお迎  
えのことと存じます。

平素は、県人会に格別のご理解・  
ご協力を賜り厚く御礼申し上げま  
す。

昭和二十七年一月一日に創立さ  
れた近畿青森県人会は、この一月  
で創立70周年となり、大きな節目  
の年を迎えることとなりました。  
これも偏に、会員・役員の皆様方・  
青森県・各市町村等、関係各位の  
暖かいご理解・ご協力の賜と深く  
感謝申し上げます。

又、創立70周年の協賛金をお願  
い申し上げますところ、多くの  
皆様方からご賛同を賜りました。

心より厚く御礼申し上げます。

70周年の歴史の中で、多くの困  
難を乗り越えてご尽力頂き、県人  
会の礎を築いてこられました関係  
各位、とりわけ歴代会長・役員  
の皆様方に、謹んで敬意と感謝を申  
上げます。

70周年を契機に、会員がより一  
層親睦を深められ、故郷青森との  
絆をより固くしていけたらと思  
います。そして、近畿圏におられる  
青森県出身者、青森県縁者の皆様  
等多くの方々にご入会頂き、盤石  
の県人会組織を確立していけたら  
と思います。

新型コロナウイルス感染症により、こ  
の二年間県人会行事の殆どが中止  
を余儀なくされ、会員の皆様方に  
は寂しい思いをさせて参りました。  
専門家は間違いなく第六波が来  
ると予想していますが、ワクチン  
接種率の向上等により新規感染者  
数は大幅に減少すると共に、治療  
薬の治験・開発も進んでいます。  
正常な県人会活動が出来るのはも  
う直ぐです。

コロナウイルス禍で感じたのは

「二度ない今を、平和に、楽しく、  
有意義に過ごす」ことの大切さで  
す。全ての会員が、近畿青森県人  
会の旗の下に結集し、助け合い、  
親睦を深め、楽しいものになれば  
と思います。そして、県人会が郷  
里青森県と近畿を繋ぐ大きな架け  
橋になればと思います。

この二月の総会は、役員改選総  
会でもあります。新役員体制下  
におきましても皆様方の暖かいご支  
援、ご協力を賜りますようお願い  
申し上げます。

結びに、会員の皆様方の益々の  
ご健勝とご多幸をお祈り申し上げ  
ます。



# デーリー東北新聞社

🔍 デーリー東北

検索

□大阪支社 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田一丁目1-3 大阪駅前第3ビル25階  
TEL (06)6344-1141

□東京支社 〒104-0061 東京都中央区銀座七丁目13-21 銀座新六洲ビル7階  
TEL (03)3543-0248

# 年頭挨拶

青森県知事 三村 申吾



明けましておめでとございます。鶴賀谷会長をはじめ、近畿青森県人会の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、貴会におかれましては、今年、設立七十周年を迎えられるすことを、心からお祝い申し上げます。

青森県では、これまで、「生活創造社会」の実現に向け、「世界へ打って出る」視点も取り入れながら、「攻めの農林水産業」の展開をはじめ、「経済を回す」取組を特に重点的に進めてきました。その結果、農業産出額や農林水産品の輸出額は堅調に伸び、外国人延べ宿泊者

数や創業・起業件数も増加したほか、令和二年三月のFDA（フジドリームエアラインズ）の青森・神戸線就航をはじめ、航空路線も充実するなど、様々な分野において、取組の成果が着実に現れてきたところでした。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、本県においても、依然として幅広い分野に大きな影響を及ぼしています。

このため、本県では、感染拡大防止と医療提供体制の確保に全力で取り組むとともに、地域経済の回復とコロナの先を見据えた事業展開の推進を図るべく、県産品の消費拡大や販売促進、観光需要の喚起など「経済を回す」仕組みの再起動や、「新しい生活様式」を支えるデジタル化の推進にも積極的に取り組んでいるところです。

こうした中、昨年七月、長年の悲願であった「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産への登録が決定いたしました。これまでに応援していただいた全ての皆様に心から感謝申し上げます。今後

は、このかけがえのない遺産をしっかりと守り、次の世代に引き継いでいくとともに、その価値や魅力を積極的に発信し、訪れる人々により一層の感動を与えることができるよう取り組んでいきます。

引き続き、皆様と心をつなぐ青森県の多様性と可能性を生かしながら、「選ばれる青森」の実現にチャレンジしていきますので、関西と青森を結ぶ架け橋として、一層のお力添えを賜りますとともに、これまで以上に青森県産品を御愛顧くださるようお願い申し上げます。

結びに、近畿青森県人会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御活躍をお祈りし、新年の挨拶といたします。



青森りんごを使用した  
10種類のアップルパイ！



アグリパークつがる塾 代表 今 久男

〒037-0631 青森県五所川原市前野目砂田 57-6  
携帯：090-6487-6395 [aguriparkkom@ybb.ne.jp](mailto:aguriparkkom@ybb.ne.jp)

FDAで飛ぶ  
833便 神戸空港 12:00 → 青森空港 13:35  
834便 青森空港 12:45 → 神戸空港 14:35

# 青森

神戸

青森県  
Aomori Prefecture

FDA  
FUJI DREAM AIRLINES

# ふるさとからの 新年メッセージ

「コロナ禍から

新生の年へ向かって



青森市長 小野寺 晃彦

近畿青森県人会の皆様には、2022年の輝かしい新春をお迎えることとお慶び申し上げます。

また、貴会が、近畿圏と青森県の架け橋として、日頃から本県発展のため、格別の御支援を賜っておりますことに、青森市民を代表して心から感謝申し上げます。

さて、新型コロナ禍を経て、リモートワーク・ワーケーションなどの新しい働き方が注目を集めているところ、本市では令和3年4月より企画部企画調整課内に「新

しい働き方推進室」を新設しました。サテライトオフィスモニター事業やUターン人材インターシップ受入促進補助金等を創設し、新しい働き方を活用した近畿圏からの移住・移農や企業誘致を進めており、近畿青森県人会の皆様に取りましては、ぜひともUターン・Iターン人材の積極的なご紹介を賜りますようお願いいたします。

また、令和3年7月「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録により、青森市は三内丸山遺跡と小牧野遺跡の2つの世界遺産を有する都市となりました。いわゆる第5波の鎮静化に伴い、近畿圏をはじめ全国からの縄文ファンが来青が着実に増加を続けております。平成26年7月の青森―大阪（伊丹）線のダブルトラックینگ化に加え、令和2年3月から青森―神戸線の就航により、近畿圏と青森市はますます身近になっています。これを好機に皆様のご来青を心からお待ちしております。結びに、近畿青森県人会のますますの御発展と、会員の皆様のご

活躍を心から祈念申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

「あずましいふるさと

継承に向けて」



弘前市長 櫻田 宏

新年おめでとございます。

近畿在住の青森県人の皆様には、健やかに新春をお迎えることと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、長年の悲願であった国指定史跡「大森勝山遺跡」を構成資産に含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録、「木村産業研究所」の国重要文化財への指定、不動産開発大手企業が公表する青森県版「街の住みここちランキング」及び「住み続け

たい街ランキング」において当市が1位獲得するなど、これまでのまちづくりや貴重な資源が高い評価を受け、大変喜ばしく思っております。

また、弘前学院聖愛高等学校の夏の甲子園大会出場や、大学生による短命県返上を目指したカフェの開業、高校生によるまちづくり活動の取り組みなど、次の時代を担う若い力の活躍はコロナ禍においても大きな励みとなり、地域に元氣と活力を与えてくれました。

今年、弘前ねぶたが文献に登場してから300年を迎える記念の年となります。今年こそは、弘前ねぶたまつりを盛大に、そして安全・安心に開催できるよう、万全の態勢で準備を進めてまいりますので、あたたかいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、近畿青森県人会のますますのご繁栄と会員の皆様のご多幸とご活躍を祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

## 「さらなる元気な八戸に」

八戸市長 熊谷 雄一



近畿青森県人会が、創立70周年を迎えられたことは誠に喜ばしく、心よりお祝いを申し上げます。創立以来、経済・産業・文化など多方面において、当地域発展のため、お力添えを賜っており、鶴賀谷会長をはじめ会員の皆様に深く敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げます。

当市では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、昨年8月の感染状況がこれまでにない規模であったことから、9月の一か月間、県の緊急対策パッケージに基づき、とり得る感染症対策を集中的に実施し、新規感染者数を減少させることができました。

また、7月に是川石器時代遺跡

を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されたほか、11月には「アートのまちづくり」の中核拠点に位置付けられる美術館が生まれ変わって開館となるなど、当市の文化芸術が大きく飛躍した節目の年でもありました。

本年は、「蕪島ウミネコ繁殖地」が天然記念物指定100周年を迎えるほか、上北自動車道の全線開通を迎えるなど、「さらなる元気な八戸」に進化するための出来事が予定されております。

皆様におかれましては、今後とも、八戸市との交流の要として、なお一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、近畿青森県人会の今後ますますの御発展と、皆様の御健康並びに御活躍を祈念申し上げます。



## 「新たな人の流れの創出に向けて」

十和田市長 小山田 久



明けましておめでとございます。

近畿青森県人会の皆様におかれましては、新しい年を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年は、コロナ禍のもとで、市民の命と生活を守るため、医療関係者をはじめ各方面の皆様のご協力のもと、新型コロナウイルスワクチンの早期接種に万全を期して取り組み、順調に進めてまいりました。本年も、市民が安心して暮らせる日常生活を取り戻せるよう、引き続き感染拡大の防止と社会経済の回復に向けて努めてまいります。

また、市政においては、令和4

年におきましても、第2次十和田市総合計画に掲げた将来都市像「くわたしたちが創るく希望と活力あふれる十和田」の実現に向け、市民との協働を図りながら魅力あるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

特に、まちの賑わいづくりのため、十和田市中心市街地活性化基本計画に基づき、稲生町中心部にアートや文化活動を通じた地域交流の拠点となる（仮称）地域交流センターや、バス・タクシーの結節点となる（仮称）公共交通拠点4が完成する予定であり、現代アートをコンセプトとした、中心市街地の新たな魅力が形成され、来街・回遊が促進されるものと期待しております。

また、人口減少対策の一環として、結婚、出産、子育ての希望をかなえるため、昨年から新たに、とわだde子育て応援ギフト券給付事業や結婚新生活支援事業に取り組んでおります。今後も引き続き、人口減少、少子高齢化などの課題解決に向けた取り組みを着実

に進めてまいります。

これからも、多彩な地域資源や、このまちに暮らす市民の知恵と力を最大限に活かし、より多くの人から「住みたい」、「住み続けたい」、「訪れたい」まちとして強く支持されるよう邁進してまいりますので、皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、近畿青森県人会のますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。

## 「大空へ夢をはこぶ坂道」

五戸町長 若宮 佳一



大空へ夢をはこぶ坂道、五戸町は坂道の多い町です。平安時代末

期から存在したみちのくの「奥大道」は江戸時代に入り、江戸を起

点とする五街道の一つ「奥州街道」として整備され、町の中心部を南北に貫いています。奥州街道の三戸町蓑ヶ坂から南部町小向、五戸町浅水、五戸町中心部までの区間は、現在も良好な状態のまま残されていて、1996年文化庁の「歴史の道百選」にも選定されました。

坂の多い町を重さ5tの山車が通ります。9月の1週目の週末は五戸まつりです。稲荷神社、神明宮、八幡宮の五戸三社約5キロの行程をお神輿や豪華な山車がねり歩きます。その標高差は約50mです。八幡宮のあるところは標高35m、神明宮は標高88mです。この坂道をみんなの力を合わせ「よいし、よいさく、よーせー、よいさつ」と引つ張ります。一番傾斜がきついとところは堀合坂(図書館脇)です。傾斜15%の坂道を上る山車とそれを引つ張る引き子の勢いには、未来への希望を感じます。今年にはコロナ禍で開催できませんでしたが、来年は今年の分も勢いよ

く坂道を上ってほしいものです。

町には五戸馬肉、あおもり倉石牛、青森シャモロックの三大肉を食べられるお店があります。「ごのへ三大肉」として売出し中ですので、そちらの方も合わせてご賞味をお願いします。

近年、五戸町に新しく仲間が増えました。「五戸のおんこちゃん」です。町の木である「おんこ」の木です。神出鬼没でおいしいものがあるところに現れます。普段は「にこかこにこかこ」していますが、食べ物の前では目をカーッと見開き野生を解き放ちます。友達もいます。シロという名前の白馬の精のようなものです。オンコノミーズというおんこの実の精もいます。「五戸のおんこちゃん」検索よろしくお願いします。時代は流れました。どんな坂道でも上り続けましょう。五戸町の坂道は大空へ続いています。大空へ夢をはこぶ坂道、一緒に駆け上がりましょう。

## 「鶴田町の特産品

「スチューベン」

鶴田町長 相川 正光



明けましておめでとうございませす。

皆さまには遠く故郷を離れ、各界において広くご活躍されておりますことに深く敬意を表しますとともに、鶴田町政にご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。さて、当町が栽培面積、生産量ともに日本一を誇るぶどうの品種「スチューベン」は、その糖度の高さから、多くのお客様からご好評をいただき、「ふるさと納税」の返礼品としても需要が高まっている自慢の逸品ですが、収穫の秋から翌年2月頃まで生果でお召し上

がりいただけるため、贈答用としてもお勧めです。

スチューベン加工品も人気が高く、特に昨年二十周年を迎えた「道の駅つるた」、そして、木造三連太鼓橋としては日本一の長さを誇る当町の観光スポット「鶴の舞橋」がある富士見湖パーク駐車場敷地内に、一昨年四月に完成いたしました、観光施設「ここにもあるじゃ」に、多くの皆さまにご賞味いただけるよう、各種加工品や土産物など品揃えも豊富に取り揃えております。

昨年新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客数も伸び悩んでおりましたが、このところ、新規感染者数が減少しておりますので、また多くの皆さまに当町に足を運んでいただき、おいしいスチューベンや加工品など、鶴田の味覚を味わっていただきたいと願っております。

鶴田町特産のスチューベンにつきましましては、ぜひ、近畿青森県人会の皆さまにもご賞味いただきたいと思っております。

最後に、今後も町民の皆さまと共に知恵を出し合い、鶴田町の発展のために尽力してまいりますので、ご支援ご協力を賜りますとともに、近畿青森県人会の皆さまの今後益々のご多幸とご活躍をお祈り申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

### 「未来へ挑戦する東通村へ」

東通村村長 畑中 稔朗



新年あけましておめでとうございます。近畿青森県人会の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと、心からお慶び申し上げます。

昨年四月十三日に村長に就任致しました。畑中稔朗でございます。就任後初めての新年を迎えるに当たり、改めてその責任の重さに身

の引き締まる思いであります。

東通村は現在、少子化、人口減少、人口流出、長引く漁業の不振、地域経済の低迷、買い物弱者の増加等々、課題が山積みしており、私は東通村発展のために、「未来へ挑戦する東通村へ」のスローガンのもと、六つの柱と二十九の政策を展開しております。

その中で特に全二十九集落で実施した「東通円卓会議」では、村民の意見や要望を直接聞くことができ、非常に有意義なものとなりました。

さらに、昨年十一月に実施した「中学生議会」では、村の将来を担う生徒たちの貴重な意見を聴き、大変頼もしくそして誇らしく感じました。

いずれも私が大切にしている施策でありますので、今後も継続して開催したいと考えております。

また、十月には東通村公式LINEを開設し、暮らしに関わる情報や、各種イベントの情報等、東通村の情報をいち早く発信できる体制を構築いたしましたので、会

員の皆様もどうぞご活用ください。

今後も村民目線の村政運営を基本的な考えとし、東通村の地域性を生かした施策の実現と推進に向かって、最善を尽くして参ります。近畿青森県人会の皆様方には、郷土発展のために、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会員の皆様の益々のご健勝とご多幸、ご活躍をお祈り申し上げます。新年のお祝いの言葉とさせていただきます。

青森の地酒と味が楽しめる(06-6926-4521)

# 居酒屋 じよっぱり

営業時間;16:30~22:30 (日祝と第2・4月曜日休)  
場所:地下鉄南森町駅・JR大阪天満宮駅徒歩5分)  
〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-21

# 祝 世界遺産

北海道・北東北の

縄文遺跡群について

青森県大阪情報センター

次長 宮川勝至

(弘前市出身)



近畿青森県人会の創立70周年を心からお祝い申し上げます。

令和3年7月27日、特別史跡「三内丸山遺跡」(青森市)をはじめめとした「北海道・北東北の縄文遺跡群」が、念願の世界文化遺産に登録されました。

この縄文遺跡群は、合計17遺跡で構成されていますが、青森県は8遺跡で全体のほぼ半分を占めています。特別史跡「三内丸山遺跡」では、現在も発掘調査を行って

り、第45次調査の成果として、溝状遺構の規模が70m以上あることや溝状遺構の両側にある柱穴が全体にわたって列状に並ぶ可能性がでてきたほか、史跡「是川石器時代遺跡」(八戸市)を構成する一王寺遺跡からは、国内最古と呼ばれる縄文時代中期前半の土面が出土するなど、新しい発見が今も相次いでいます。

今後青森県では、遺産をしっかりと守り、次の世代に引き継ぎ、その価値や魅力を国内外に積極的に発信し、活力と魅力あふれる地域づくりに邁進していくこととしております。

近畿青森県人会の皆様におかれましては、お友達や近所の方など



写真(三内丸山遺跡)

への御紹介など御協力をお願いいたします。また、当事務所

の観光案内コーナーでは、縄文遺跡群についての観光相談やモデルコースの紹介なども行っておりますので、お気軽にお問合せください。【北東北三県大阪合同事務所 電話：06・6341・7900】

最後に、北海道・北東北の縄文遺跡群の詳細や最新の取組等を掲載しているホームページを御紹介いたします。(https://jomon-japan.jp)是非御覧になってください。



スナック サンユ

〒542-0084

大阪府中央区宗右衛門町5-4

日宝宗右衛門町エイトビル4階3号

☎ 06-6212-5020

2022年3月5日(土)  
第17回 全国青森県民謡コンクール  
2022年3月6日(日)  
第19回 全国津軽三味線コンクール

箕面市立メイプルホール

※会場が変更になっておりますのでご注意ください

〒562-0001

大阪府箕面市箕面5丁目11-23

◎主催 青森県郷土芸能協会  
◎共催 公益財団法人箕面メイプル財団

入場料(1日)  
前売り 2,500円  
当日 3,000円

◎出場者募集中



会報誌を開いてみれば……

近畿青森県人会の創立は昭和27年1月1日。現存の会報誌を紐解けば、会報誌1号は昭和50年9月。県人会年会費1000円の記載。2号は昭和51年1月。棟方志功没の記載。この後は半年に一度の会報誌が発行されている。

興味深いのは、昭和56年8月発行の13号。県人会の始まりは明治34年3月21日に結成したという事実が津軽家14代当主津軽義孝氏所蔵の、昭和2年12月から現金出納帳から出てきたといわれる、と記載があったことだ。

時々は県人会の歴史を誌上でお届けしたいと思っている。(小宮山)

新入会員紹介 ①

戸澤 桐子 さん

(五所川原市出身)



南部出身の母と津軽出身の父の間に生まれたダブルです。五所川原市立梅泉小学校を卒業し、弘前大学教育学部附属中学校に自動車通学した後、桔梗野に下宿し弘前高校に通いました。その後は東京の津田塾大学、仙台の東北大学大学院他に進学し、現在関西学院大学大学院司法研究科に在学し、司法試験を目指しております。

津軽弁の話せる弁護士になりたいです。よろしくお願ひします。なお、阪神フアンで東北猛虎会に入っております。

**カネショウ株式会社**

りんごのふる里で生まれた味  
カネショウのりんご酢たちです

本社: 弘前市藏王町15-23  
工場: 平川市日沼富田30-12

0120-30-0231

seven C's

安全な高速Wi-Fi!  
仕事がとても快適! シェアオフィス

フリードリンク付きのゆったり空間、会員登録で登録も可能。自分に合った充実のワークスタイルを実現! 高速複合機も設置。パソコンひとつであなたの仕事場に。

マルチな用途に対応!  
会議室利用が便利でお得!

無料で使える大型電子ホワイトボードを設置。ZOOMなどWEB会議に威力を発揮しあらゆる場面に対応できます。東北電力よりそうキッチンスタジオe-TO(イト)には料理教室に便利な大型モニターも。

東奥日報新町ビル New's 2F  
Coworking Space  
seven C's

〒030-0801 青森県青森市新町2丁目2-11 | TEL: 017-764-0220  
営業時間/9:00~19:00 | 7cs-info@toonippo.co.jp  
定休日/毎月第4日曜日・年末年始 | https://news-to-o.com/seven-cs/

東奥日報社  
【本社】青森市第二間屋町3丁目1-89  
【大阪】大阪市北区梅田1丁目2-2-1400  
【支社】大阪駅前第2ビル14階 ☎06-6343-2366

尾上町(現平川市)出身

山口 義久

京都青森県人会事務局  
関西鏡ヶ丘同窓会事務局

〒606-0807

京都市左京区下鴨泉川町55

☎075(701)5767

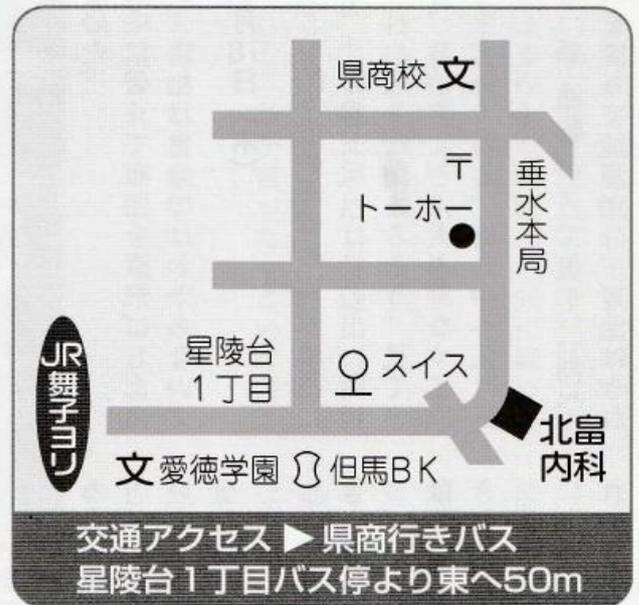
# 北畠内科

- 内科一般 ● 径鼻・径口胃カメラ
- 大腸カメラ ● 超音波検査(エコー)
- 検診一般 ● 健康相談

医療法人社団 北畠内科

理事長 北畠 千賀子  
昭和35年度弘前高校卒業

院長 金城 東浩  
医員 金城 和美



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
AM9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	×
PM2:00~ 5:00	○	○	×	○	○	×	×

**TEL078-709-5101** 〒655-0032 神戸市垂水区星が丘1-4-19

## ローリエ



日本海の夕日を見ながら  
おいしいピザとハンバーグはいかが



鰯ヶ沢町舞戸海岸通り TEL 0173-72-5993

## 同好会

### かもめの会

12月5日(日)道頓堀ホテルで忘年会が開かれました。青森12名・秋田13名・岩手3名、合計28名の参加でした。

二年ぶりに会えて、皆で喜び合いました。食事は和やかに進み、久しぶりのおしゃべりに話はずみませんでした。二年前と変わらない笑顔・笑顔です。カラオケの進行をしながら、どの方も歌が大好きなことに気が付きました。どの方も声が素晴らしく、こぶしが効いて惚れ惚れします。

次回3月は総会です。(小宮山)



## かまりっこの会

11月27日(土)に懇親会が開かれました。ほぼ、二年ぶりです。なつかしい顔たち、会って話して食べれば、二年間の空白が埋められていきます。がんこ本店での食事会でした。

10月は打ち合わせ方々、ビストロカフェ&Sで会いました。青森の食材を使った料理でした。リンゴ茶を始めて飲みました。



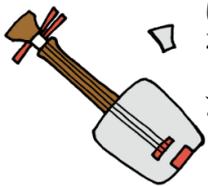
(ビストロカフェ&Sにて)

## 津軽三味線由来

(大條和雄著より)

津軽三味線の始祖は、幕末に五所川原の金木地区に生まれたボサマ「仁太坊」(にたぼう)。それまで地味な門付け芸だった三味線音楽に革新的な奏法を取り入れ、津軽三味線の原型を築いたという。仁太坊と共に、黒川桃太郎や梅田豊月らが競い合いつつ、さらに時代がくんだり、高橋竹山・白川軍八郎・木田林松栄らの演奏家が出るに及んで、津軽地方の三味線は他の三味線音楽とは全く異なる音楽として発達を遂げる。三味線も細棹ないし中棹から太棹に変化し、奏法も「叩き」を中心とする打楽器的な奏法が主流を占めた。

三橋美智也が師匠白川軍八郎と舞台で共演したことから津軽三味線が一躍有名になった。



津軽の情報満載。

THE MUTSU SHIMPO

# 陸奥新報

本社/〒036-8356  
弘前市下白銀町2-1  
TEL.0172-34-3111(代)  
http://www.mutusinpo.co.jp/  
東京支社/〒104-0061  
東京都中央区銀座2-8-5 石川ビル7階  
TEL.03-3561-6733  
FAX.03-3561-6734



## 青森の祭り

青森ねぶた（8/2～8/7）

全国的に有名な青森ねぶたです。1980年に国の重要無形文化財に指定され、毎年200万人以上の観光客が訪れる東北三大祭りの一つとして知られています。祭りの由来は諸説ありますが、七



夕の籠流しになぞらえて死者を弔ったという説や、「ねぶた」の語源とされている津軽弁で「眠たい」という意味の夏の邪気や疫病を祓うためともいわれています。

見どころは、大迫力の大型ねぶたと、囃子に合わせて狂喜乱舞する跳人（はねと）のエネルギッシュなパフォーマンスです。

三社大祭（7/31～8/4）

約300年の長い歴史と伝統を誇る八戸市最大のお祭りです。

2016年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。夏の夜空に響く独特な情緒のお囃子の音色、華やかで大迫力の巨大な山車が勢

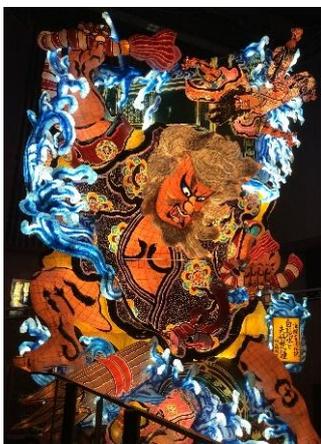


ぞろい。3キロにも及ぶ豪華絢爛な大行列は絵巻物とも称されます。国の重要無形民俗文化財に指定され、ライトアップされた光景は、日本夜景遺産にも登録されています。

弘前ねぶた（8/1～8/7）



五所川原立佞武多（8/4～8/8）



黒石よされ（8/15～8/16）  
津軽の代表的な民謡「黒石よされ」に合わせて、連日2000人の踊り手が編み笠に浴衣姿で踊り歩きます。



八戸えんぶり（2/17～2/20）  
八戸地方に春を呼ぶ豊作祈願の郷土芸能で、国の重要無形民俗文化財に指定されています。



## お店紹介

居酒屋 じよつぱり

☎06-6926-4521

南森町駅近く、天神橋筋商店街のすぐそばにある、居酒屋じよつぱり。弘前市出身のマスターと、穏やかな奥様と二人で経営。青森の地酒は勿論のこと、焼き鳥はじめおつまみが美味しい。店内はゆったりとした雰囲気、仕事で青森から来た人も立ち寄ります。

徒歩1分にある大阪天満宮へお参りしてからの一杯は格別です。

津軽弁が飛び出し和やかに会話がはずんで、笑顔があふれるお店です。来てけへえ！



## 会社紹介

カネシヨウ株式会社

☎0120-30-0231

本社は青森県弘前市。県人会へは、長年会報誌へ広告の協賛をいただいています。商品は食酢・醬油・味噌・ソースつゆ・たれ類の製造販売。現在は津軽のリンゴを丸ごと使用した「天然りんご100%使用」のリンゴ酢に力を入れています。「食酢の健康機能」に関する研究結果では、①カルシウム吸収、②グリコーゲンの再補充、③血圧調整、④血中総コレステロール値低下への効果が期待できるという結果を導き出しています。健康維持の一環として是非リンゴ酢を使ってみてください。

大阪・神戸・守口等々へ実演販売に来阪。県人会ホームページに販売日程を記載しています。



## アグリパークつがる塾

☎0173-29-3023

青森県五所川原市にある会社です。贈り物として頂いた「アップルパイ」がご縁で、県人会との出会いがありました。

リンゴが本場の青森県、是非つがる塾のアップルパイをご賞味ください。関西では、京都伊勢丹デパートで販売することが多く、ホテルのアップルパイは、一個のパイに5個のリンゴが入っています。リンゴ茶も人気です。

ホームページの販売予定も見てください。



個人の出げいこもしています  
津軽三味線 山口流二代目

## つがる光月会

本部 〒566-0035 摂津市鶴野 4-3-3  
アドリーム千里丘 1116  
☎090-3265-7925

Bistro café eS

ビストロ カフェ エス



〒553-0003

大阪市福島区福島 1-5-12 ☎ 090-3909-7185

# 中部青森県人会

会長 扇谷 恒夫 事務局長 山田 修次

〒451-0024 名古屋市西区秩父通 1-36

☎&FAX 052 - 755 - 5905

# 広島青森県人会

令和元年の20周年記念式典ではありがとうございました。  
これからもふるさと青森つながり、共にケッパリましょう。

会長 黒坂 貞子 (青森市) 副会長 古川 充 (中里町)  
会計 今 恒雄 (青森市) 事務局長 平岡 君啓 (広島県呉市/青森市)

## 近畿青森県人会

創立 70 周年

おめでとうございます

青森県立広崎工業高等学校関西支部員

広島青森県人会 顧問 石塚 則昭(大鰐町出身)



和歌山青森県人会会長  
和歌山県相撲連盟理事長

橋 本 剛

〒641-0052

和歌山市東高松 2-2-21

☎ 090 - 2591 - 1666

和歌山青森県人会名誉会長

榎 本 篤 子

マルマンビル マルマン駐車場

〒640-8342

和歌山市友田町 4 丁目 9 1 番地

☎ 073 - 428 - 1515 FAX 073 - 428 - 1516

## 新入会員紹介②

蝦名 大輔 さん

(青森市出身)



東奥日報社大阪支社営業部に赴任してまいりました、蝦名大輔と申します。

初めての大阪勤務です。異動内示を受けたのが4月末。丁度、大阪でのコロナ感染数が激増しており、緊急事態宣言下での引越となりました。そんな中でも大阪の方々に温かく迎えていただきました。まだ油断はできませんが、行動制限も緩和に向かい、皆様にお目にかかる機会が来ることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いたします。



瓢 優 美 さん

(南部町出身)

はじめまして。

南部町(旧福地村)出身の瓢優美(ひさごゆみ)です。大学は仙台、就職で東京、結婚で大阪：と関西に来て6年目です。8月に「えもんショップ」で買い物していたところ、近畿青森県人会を知り、入会させて頂きました。普段は3歳息子の子育てと仕事とで目紛しい日々を送っていますが、読売テレビ「す・またん」に出演している青森県出身の虎谷アナウンサーを見るのが日課となっています(笑) 高校野球が好きなので、皆さまとご一緒に青森県代表の試合を応援できる日を楽しみにしています。



梅田ドーチカの青森・岩手の県産品アンテナショップに

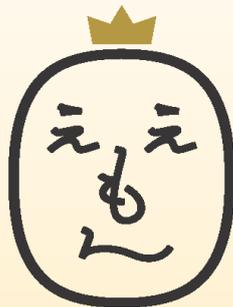
# 是非おこしく下さい!



決め手くん



わんこきょうだい



## 青森・岩手 ええもん

AOMORI・IWATE ANTENNA SHOP



**住所** 大阪市北区堂島一丁目  
堂島地下街 6 号  
(梅田・ドージマ地下センター)

**電話番号** 06-6346-0888

**営業時間** 11:00 ~ 20:00

**定休日** 毎月第3日曜日 年末年始

地下鉄四つ橋線「西梅田」駅  
南改札から南へ徒歩5分



## メール会員募集中!

メール会員様へ **お得情報** をお届けいたします。

登録方法は下記メールアドレスに空メールするだけ!

[aomori\\_iwate\\_eemomshop@star7.jp](mailto:aomori_iwate_eemomshop@star7.jp)

もしくは QR コードを読み込んで  
空メールを送信!



弘前市

挑戦を誇れる街

青森市

AOMORI CITY

とわだ

十和田市

Towada City

あなたらしい暮らしがここ「とわだ」にあります。

ひと・産業・文化が輝く

北の創造都市

A Creative City of the North, Shining People·Industry·Culture

八戸市

世界自然遺産・日本遺産  
豊かな自然と歴史息づくまち

KITAMAE-BUNE KIKOUCHI AJIGASAWA

北前船寄港地

鱒ヶ沢町

<http://www.town.ajigasawa.lg.jp>

馬・牛・鶏

寒立馬と能舞の里

東通村

<http://www.vill.higashidoori.lg.jp>

鶴の舞橋

健康で  
共に支え合う  
住みよい  
まちづくり

つるりん

鶴田町

<http://www.town.tsuruta.lg.jp/>



鶴賀谷 修

(つがる市出身)

〒583-0006

藤井寺市国府3-6-36

☎ 090-3997-3661

古川 マツエ

(中泊町出身)

〒567-0874

茨木市奈良町5-512

☎ FAX 072-627-0577

小宮山 さき子

(つがる市出身)

〒534-0012

大阪市都島区御幸町2-1-11

☎ FAX 06-6928-2136

窪田 みどり

(高槻市出身)

〒569-1042

高槻市南平台2-13-18

☎ FAX 072-694-5223

佐々木 英雄

(八戸市出身)

〒663-8141

西宮市高須町1-112-2007

☎ 0798-49-5043

杉田 清和

(青森市出身)

〒534-0027

大阪市都島区中野町5-14-6

☎ 090-8218-7855

須郷 恵美子

(鶴田町出身)

〒572-0024

寝屋川市石津南町13-49

☎ FAX 072-828-9752

谷坂 いく代

(八戸市出身)

〒586-0027

河内長野市千代田台町10-38

☎ FAX 0721-52-5304

天摩 義信

(八戸市出身)

〒573-0083

枚方市茄子作北町56-5

☎ FAX 072-854-7476

蒔苗 幸治

(弘前市出身)

〒564-0000

吹田市高野台1-2-3-409

☎ FAX 06-6832-3630

泰山 和子

(名川町出身)

〒540-0027

大阪市中央区鑓屋町1-1110

☎ FAX 06-6941-4029

越前 良子

(鯉ヶ沢町出身)

〒652-0847

神戸市兵庫区切戸町7-21

☎ FAX 078-651-5920

丹藤 豊司

(弘前市出身)

〒578-0924

東大阪市吉田7-8-8

☎ FAX 0729-64-0496

日野口 修子

(鶴田町出身)

〒559-0033

大阪市住之江区南港中

3-4-13-1011  
☎ 090-4562-0507

## 令和4年事業計画(案)

	主 要 事 業 内 容	理事会 予定日	他県人会行事
1月	会報発行	1月18日	京都総会・懇親会 京都女子駅伝 広島総会・男子駅伝
2月	定時総会・新春懇親会(2月6日)	2月8日	中部総会・懇親会 和歌山総会・懇親会
3月	県職員歓送迎会 かもめの会総会(3月13日)神戸	3月15日	奥津軽会
4月	花見		京都花見
5月	県人会便り発行 カラオケ会	5月17日	
6月	芸能発表会(6月26日)道頓堀ホテル		
7月	北東北3県人会合同 納涼ビアパーティー(7月17日) かまりっこの会社会見学	7月19日	
8月	スポーツ激励(夏の高校野球) かもめの会暑気払い		鴨川納涼
9月	県人会便り発行	9月20日	京都バーベキュー
10月	バーベキュー		東京青森人の祭典
11月	故郷探訪ツアー かまりっこの会忘年会	11月15日	奥津軽会
12月	忘年かたけ会(12月9日)長堀橋「みまさか」 かもめの会忘年会	12月20日	高校駅伝応援 ラグビー応援

# 三 上 整 骨 院

〒555-0001

大阪市西淀川区佃3-14-29

☎&Fax 06-6471-3664

## ご連絡

### 令和4年総会開催について

コロナ蔓延により、県人会行事すべてが開催できなくなり2年が経ちました。

やっと総会が開催できるのではないかとこの時期に来ました。

是非総会にご参加ください。

尚、1月のコロナ感染の状況によつては、中止になる場合があります。中止の場合は必ずご連絡いたします。ご了承ください。

## お知らせ

### ホームページについて

令和3年度より、ホームページがリニューアルされました。県人会行事が、ホームページを開くことで、すぐにわかるようになりました。また、ホームページの見方がわからないという声も聞かれます。折を見て、ホームページについての勉強会を開きます。改めてご案内を致します。

写真・青池



## 編集後記

今年2022年は近畿青森県人会創立70周年。長い年月が過ぎたのだと改めて感じます。

県人会が創立された時の目的の一つに、県物産の紹介があります。

昨年は、県より「まつしぐら」米の見本をいただきました。

美味しいので友人知人にすすめたら「10キロ〜20キロを買ってもらった」という声を沢山聞きました。これからは物産の紹介だけではなく、自分が食べて周りの方にも食べてもらうことが大事と感じます。コロナで消費が落ち込んでいる昨今ですが、買うときは青森産の品を選びましょう。

2022 新年号 令和4年1月発行 66号

## 発行 近畿青森県人会

〒530-0001

大阪市北区梅田1-3-1-900

☎ & FAX 06-6341-2231

流通が良くなり、届くのも早くなりました。堂島の「ええもんシヨップ」も是非ご利用ください。

年の始めに会報誌を発行できるのは、会員の皆さまは勿論のこと、知事をはじめ各市町村長・県民の皆様、関係各位様のおかげと感謝いたします。

大阪情報センター宮川次長はじめ、職員の皆様方にも大変お世話になりました。感謝です。

創立71年目が始まります。みんなで良い年にしましょう。

令和4年も、宜しくお願い致します。

(小宮山 さき子)

